

鉄道分野の国際規格開発への取り組み

Development on international standards for railway applications

概要

欧州では、1980年代から現在に至る欧州研究開発フレームワーク計画で開発された多くのシステムや、1990年代に始まった欧州内鉄道市場自由化の動きに伴う欧州指令を頂点とした技術仕様体系の構築を反映し、これまで数多くのEN（欧州規格）が開発され、2000年代以降ENの国際規格化の動きが加速しています。

また、1995年に設立された世界貿易機関（WTO）のTBT協定やGP協定により、国際貿易における国際規格の重要性が増しています。

日本ではこれらの動きを受け、鉄道技術標準化調査検討会（国、鉄道事業者、メーカー、研究機関、関係協会で構成）のビジネスプランが目指す以下の活動に、国内の関係団体や企業の皆様方と協力し、取り組んでおります。

- 攻め：日本が得意とする技術分野における国際規格提案→日本メーカーの海外ビジネス展開支援および国際貢献
- 守り：欧州提案国際規格に対する日本の技術・規格の整合性確保→WTO協定による国内市場への影響緩和および日本の技術の局在特殊化の防止

[用語]

IEC：国際電気標準会議
(International Electrotechnical Commission)

ISO：国際標準化機構
(International Organization for Standardization)

TBT：貿易の技術的障害(Technical Barrier for Trade)

GP：政府調達(Government Procurement)

活動内容

- 鉄道関連国際規格の国内審議団体事務局
 - 規格審議に関する多様な会議体の運営
- 日本発の戦略的な規格提案
 - 日本の鉄道の特性を織り込める規格コンセプトの検討
 - 国内での国際規格化ニーズ/シーズの抽出
- 海外の関係機関との連携
 - 戦略目標に応じた情報/意見交換を実施
 - Win-Winを目指して規格ごとに協力関係を構築
- 人材育成
 - 規格審議ノウハウの蓄積・伝承
 - 役割と適性に応じた人材の発掘

国際規格審議



■背景

1980年代 1990年代 2000年代 2010年代



欧州研究計画
フレームワーク計画

鉄道市場の
自由開放

ENの国際規格化
加速

WTO設立
TBT協定・GP協定

ISO/TC 269設置
議長: 日本

**ISO/TC 269/SC 1,
SC 2, SC 3 設置**



鉄道国際規格センター設立
ISO/TC 17/SC 15及び
ISO/TC 269 国内審議団体

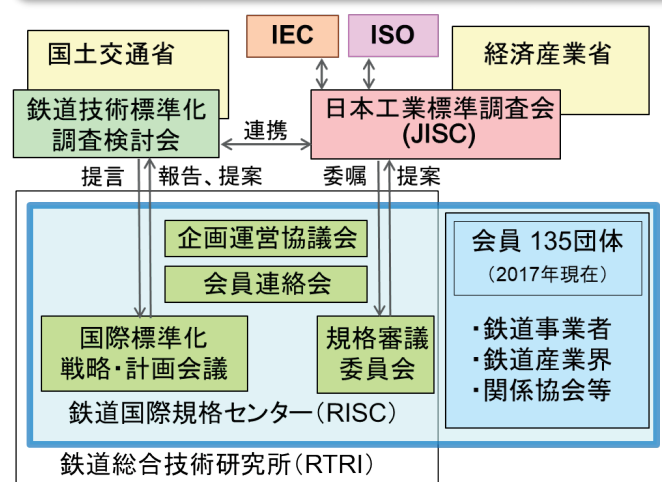
国際規格調査検討会設立
(現: 鉄道技術標準化調査検討会)
鉄道技術標準化ビジネスプラン策定
IEC/TC 9 国内審議団体

ISO/TC 17/SC 15: 鋼-鉄道
ISO/TC 269: 鉄道
ISO/TC 269/SC 1: インフラストラクチャ
ISO/TC 269/SC 2: 車両
ISO/TC 269/SC 3: オペレーション&サービス

■センター活動の柱



■組織図



■日本提案の戦略的規格



運転訓練用シミュレータ国際会議

■人材育成



平成28年度 国際規格セミナー
(一般編・東京開催)